

平成 18 年 度
日本丸メモリアルパーク
事業報告書

帆船日本丸記念財団・JTB 共同事業体

平成18年度 事業報告

平成18年度は、日本丸メモリアルパークの指定管理者としてのスタートの年であった。

財団法人帆船日本丸記念財団と株式会社ジェイティービー（以下「JTB」という。）が共同事業体を組み、指定管理者制度の主旨に基づいて、サービスの向上と低コストに努め、効率的で使いやすい施設の管理運営を行い、また市民に愛され、親しまれる施設を目指した。

そのために、今まで継続的に実施してこなかったセールスやプロモーション活動を展開するとともに、新規事業の開発や職員の意識改革の向上等に努力した。

こうした状況のなかで帆船日本丸は、従来にも増して維持保存や公開、青少年の錬成事業の拡充を図った。横浜マリタイムミュージアムについては企画展、テーマ展等の展覧会及び教育事業の内容の充実と開催回数を増やし、入館者の増員と利用促進に努めた。

初年度の事業展開で見つかった新たな課題と実績を再検証し、次年度につなげより良い成果を出したい。

1 帆船日本丸事業

1 帆船日本丸保存事業

年次整備計画に基づいて日常保守点検整備、年次船体整備及び整備工事を実施し、船体の保存、美観の維持及び船内安全の確保に努めた。

(1) 日常保守点検整備

- ア 観覧者通路、公開区域及び公開室の安全点検整備
- イ 船内及び甲板清掃、船内真鍮磨き
- ウ マスト、ヤードその他帆装艀装の点検整備
- エ 木甲板ピッチ補修
- オ その他

(2) 年次船体整備

- ア メイン・ミズンマストピンレール更新
- イ 防災センター天井デッキコンポ打ち替え
- ウ コンパスデッキ・デッキコンポ打ち替え
- エ 上甲板士官居住区通路天井・壁塗装
- オ ジガーマストワイヤー類締め直し及び調整
- カ 第一種中間検査受検工事

キ 海洋汚染防止法関係受検工事

ク その他

※日常保守点検整備及び年次船体整備へのボランティアの参加状況

・ボランティア参加日数 240 日

・ボランティア参加延人数 1,353 人

(セール取外し、取付け延べ参加者 254 人含む)

(3) 整備工事

ア 船橋ハウス廻り総塗装

イ 各ポートタビット錆打ち手入れ後総塗装

ウ 水線上外板塗装

エ 未公開区域手入れ後塗装

オ セールの取外し及び取付け

カ その他

(4) 第一種中間検査

ア 船体関係検査項目

船体外部、船体内部、舵及び操舵装置、航海用具、消防設備、防火装置、救命設備、電気設備、排水設備、係船設備、居住・衛生設備、交通設備、脱出設備、防災マニュアル

イ 機関関係検査項目

ビルジポンプ及びビルジ兼消防ポンプ効力試験、非常用発電機起動試験、絶縁抵抗計測

(5) 災害防止

ア 火災、浸水及び不法侵入等に備え船内防災センターにおいて 24 時間体制の監視を実施

イ 海洋教室宿泊者に対して防災に関する心構え、災害発生時の避難方法等について説明を含めた防災訓練を実施

2 帆船日本丸公開事業

(1) 公開日数・観覧者数

項目/年度	18 年度	17 年度	16 年度	15 年度	14 年度
公開日数 (日)	286	285	301	294	290
観覧者数 (人)	91,579	90,899	98,827	88,874	89,481

※17 年度は 7~9 月の金・土・日・祝日は 18:30 まで開館した。

※17 年度までは、財団法人帆船日本丸記念財団が公開事業を実施

(2) 総帆展帆実績

回目	実施日	ボランティア数(人)	回目	実施日	ボランティア数(人)
1	4月29日	135	7	8月27日	99
2	5月5日	120	8	9月18日	雨天中止
3	5月28日	99	9	10月1日	112
4	6月25日	106	10	10月22日	100
5	7月17日	雨天中止	11	11月5日	103
6	8月6日	94	12	11月26日	131
			計10回		1,099

(3) 満船飾実施実績

4月29日、5月3日、5月4日、5月5日、6月2日、7月17日、
9月18日、9月23日、10月9日、11月3日、11月23日、
12月23日、1月8日、1月27日、3月21日

計15回実施

(4) 展帆ボランティアの養成実績

年2回養成講座開講 31人(男性11人、女性20人)

平成19年3月末現在展帆ボランティア養成者総数 1,127人
(男性539人、女性588人)

登録ボランティア数 2,202人

(男性1,567人、女性635人)

3 青少年錬成事業

生きた帆船として保存している帆船日本丸を訓練の場として、青少年錬成のための海洋教室を開催した。32回実施し、参加者は1,437人。

(1) 海洋教室開催実績

コース別	開催日	参加団体名	参加人数
半日コース	4月25日	長野県 永明小学校	30
	5月18日	秋田県 桜中小学校	29
	5月27日	指定管理者主催 ロープワーク教室	15
	6月14日	滋賀県 湖東小学校	56
	6月14日	愛知県 日進西中学校	26
	6月24日	指定管理者主催 バウスプリット渡り	19
	7月2日	指定管理者主催 バウスプリット渡り	15

コース別	開催日	参加団体名	参加人数
半日コース	10月3日	バーチップ(オーストラリア) P-12 スクール	11
	10月29日	指定管理者主催 バウスプリット渡り	38
	11月25日	指定管理者主催 ロープワーク教室	24
1日コース	4月20日	宮城県 富谷中学校	19
	6月4日	ボーイスカウト町田1団	17
	6月18日	ボーイスカウト目黒8団	25
	7月16日	青少年育成協会 リーダー研修	36
	8月7日	青少年育成協会 小学生コース	180
	8月23日	指定管理者主催 カッター教室	18
	8月26日	指定管理者主催 親子海洋教室	8
	9月16日	指定管理者主催 バウスプリット渡り	10
	11月8日	横浜市 港湾局研修	34
	1月21日	甲板清掃協力者有志(帆走教室)	26
	3月10日	NPO法人 100人委員会	105
1泊コース	4月6~7日	横浜市工業会連合会	48
	6月1~2日	西埼玉中央病院附属看護学校	37
	6月10~11日	横浜こどもマリンスクール リーダー研修	17
	7月8~9日	よこはまこどもマリンスクール	93
	7月22~23日	よこはまこどもマリンスクール	100
	7月29~30日	指定管理者主催 海洋教室	36
	8月2~3日	山梨県 鯉沢町教育委員会	40
	8月9~10日	青少年育成協会 中学生コース	95
	10月7~8日	海洋教室(シーサイドフェスティバル)	31
	3月17~18日	よこはまこどもマリンスクール	99
	3月24~25日	よこはまこどもマリンスクール	100
合 計			1,437

2 横浜マリタイムミュージアム事業

1 常設展示事業

(1) 公開日数・観覧者数

項目／年度	18年度	17年度	16年度	15年度	14年度
公開日(日)	309	317	339	341	345
観覧者数(人)	80,205	77,359	87,943	79,655	76,411

※17年度は7～9月の金・土・日・祝日は18:30まで開館した。

※17年度までは、財団法人帆船日本丸記念財団が展示事業を実施

(2) 館内案内

観覧者の展示物への理解を深めるために、希望者にはミュージアム入口にある館内案内図に従い展示・施設内容の説明を実施。常設展示「生きている横浜港」では、横浜港に関するクイズや生中継映像を使って横浜港を紹介するライブ演出を実施した。また、展示ガイドツアーを1日2回実施した。

(3) 展示品保守

年2回の定期メンテナンスのほか、経年劣化したレーザーディスクプレーヤーのメンテナンスを行った。

2 特別展示事業

(1) 春に展示会を開催

- ① 展 示 会 帆船日本丸チョコQ発売記念 全国船のチョコQ展
会 期 平成18年4月6日(木)～6月25日(日)
展示内容 4月1日の帆船日本丸チョコQ発売を記念して、当館が収集した全国の船のチョコQを全て展示
入館者数 28,505人
- ② 展 示 会 みなとの博物館ネットワーク・フォーラムイメージキャラクター作品展
会 期 平成18年4月22日(土)～6月25日(日)
展示内容 当館も参加している「みなとの博物館ネットワーク・フォーラム」で募集したイメージキャラクターの全応募作品を展示
入館者数 16,627人

(2) 秋に企画展を開催

- 企 画 展 客船クイーンエリザベス2と横浜港30年
会 期 平成18年9月23日(土)～11月23日(木・祝)
展示内容 横浜初入港から30年を経たQE2の横浜での歩みを紹介
入館者数 17,808人

関連行事 ①記念講演会「私の好きなクイーンエリザベス2、そして横浜」

日 時：11月3日(金・祝) 13時30分～15時

講 師：柳原良平(画家)

参加者：58人

②QE2 ボトルシップ教室

日 時：10月28日(土)、11月12日(日)

各日13時～15時

講 師：新明國由(横浜ボトルシップ)

参加者：49人

③ライブラリーにQE2 関連図書コーナー設置

④QE2の写真を公募

テーマ：私の思い出のクイーンエリザベス2 in Yokohama

応募者：95人 応募写真枚数：186枚

(3) 冬に展示会を開催

展 示 会 秘蔵コレクション船の模型展

会 期 平成19年2月10日(土)～4月8日(日)

展示内容 当館所蔵の船の模型を一堂に展示

入館者数 11,193人

3 教育普及事業

港と船について関心と認識を深めるため、小中学生及び一般者を対象とした各種教育普及活動を次のとおり実施した。

行 事 名	実施月日	参加者	応募者	定員	会 場 他
マリタイムこども体験講座 ー博物館の仕事に挑戦ー	5月13日	13	14	20	常設展示室、 訓練センター他
マリタイム大人のための 体験講座ー博物館で働くー	11月18日	16	23	20	常設展示室、 訓練センター他
大人のための船のペーパー クラフト教室	6月18日 6月24日	19 18	20 19	35 35	訓練センター、観光船「あ かいくつ号」を製作
ゴム動力で動く船をつくる 工作教室	7月28日	59	90	60	訓練センター 午前・午後2回
モーターで動く船をつくる 工作教室	7月29日	50	51	60	訓練センター 午前・午後2回
ソーラーで動く船をつくる 工作教室	8月1日	62	68	60	訓練センター 午前・午後2回

行 事 名	実施月日	参加者	応募者	定員	会 場 他
ポルトウオッチング ー港と船の観察会ー	8月4日	23	25	30	大さん橋客船ターミナル
工作教室作品展と 観察表展示会	8月11日 ～24日	入館者 4,258	—	—	特別展示室
小学生のための親子 海の地図教室	8月13日	64	104	30	訓練センター
なるほど！ミナト散歩	10月8日	42	54	40	当館～大さん橋 午前・午後2回
春休み楽しい親子の 船の見学会	3月31日	35	415	40	大さん橋 クルーズ客船 「ばしふいっくびいなす」

※各事業の応募落選者には入館割引券を送付した。

4 ライブラリー事業

港湾、海運、船舶、造船、港運、航海などの海事関係図書、雑誌及びビデオを収集、整理、公開した。

- (1) 収集図書 図 書 購入：125冊、寄贈：173冊
蔵書数 22,054冊（平成19年3月末現在）
受入雑誌タイトル数 180タイトル
DVD 4点
- (2) 利用者数 12,451人（内ライブラリー有料利用者141人）
- (3) その他 映像プログラムの一部を更新した。

5 資料収集、調査、研究等事業

- (1) 収 集
- ア 本牧の錦絵や横浜港古写真、横浜港汽船発着表、客船ポスター、航路案内、艇模型などの海事関連資料を収集。
購入：99点、寄贈：924点、採集：91点 計1,114点
- イ QE2展にあわせQE2関係資料の寄贈があった。
- ウ 収集した資料の一部は常設展示室内新着資料コーナーで展示し、寄贈者には案内を送付した。年3回展示替え。
- (2) 整理保存
- ア 収集した資料を受入種別ごとに整理し、収納・保存した。
- イ 横浜復興博覧会等のポスター4点を修理した。
- (3) 調査研究
- ア 企画展等展覧会実施にともなう資料調査を実施した。
- イ 毎月末に横浜港内の写真撮影を実施した。
- (4) 燻 蒸
- ア 資料保存のため平成19年1月28日～2月2日まで収蔵庫、書庫の燻蒸を実施した。

6 出版活動

普及活動、情報提供及び広報活動の一環として出版した。

出版物名	部数	配布先
企画展「客船クイーンエリザベス2と横浜港30年」	1,000部	博物館、図書館、企画展出品者へ配布、ミュージアムショップで販売

7 その他

(1) 資料の館外貸出

ア 名古屋海洋博物館、姫路市美術館、横浜開港資料館などへ
44件、349点

(2) 資料の特別利用

ア 名古屋海洋博物館ほか7件、209点

(3) 総合学習・校外学習

- ア 総合学習の一環として、横浜市立戸部小学校児童30人を受入れた（指導部と共同で計8回実施）。
- イ 横浜市立蒔田中学校職業体験学習として中学生3人、同校職業インタビューとして中学生3人を受け入れた。

(4) 他施設連携事業

- ア 夏休みに近隣博物館と共同で小・中学生向けに、7月17日～8月31日まで「ミュージアム・クイズラリー YOKOHAMA」を実施した。当館での参加者は101人。
- イ 2年間務めた全国の港湾関連博物館による「みなとの博物館ネットワークフォーラム」の事務局を6月で名古屋海洋博物館に交代した。同フォーラムの企画委員は引き続き務めた。
- ウ 「よこはま港」(横浜港振興協会刊)で「横浜開港150年への航跡」を学芸員による連載開始。期間:平成18年7月から平成21年まで。

3 日本丸メモリアルパーク事業

1 日本丸メモリアルパーク(港湾緑地)の維持管理・活用

(1) 安全管理・美化

日本丸メモリアルパークの安全管理のため警備員による巡回、景観・緑地保全のため清掃を実施して、施設の環境の維持を図り、来園者が快適に過ごせるようにした。

(2) 撮影

日本丸メモリアルパークでの撮影の休館日使用、半日単位の料金設定など使いやすい工夫をして利用促進を図った。

撮影実績 動画 11件、静止画 9件、計 20件

(3) 催事

日本丸メモリアルパークにおける各種催事の企画やイベント誘致で利用促進と賑わいを創出した。

よこはまシティウオーク、神奈川赤十字ボラフェスタなど18回開催。

2 研修施設(訓練センター)の管理運営

訓練センターの一般貸出を行い、利用率を高め、夜10時まで貸出した。

訓練センター利用実績

第1教室 88件、第2教室 10件、

第3教室128件、小会議室 61件、計287件

4 集客・プロモーション事業

積極的な営業、誘客活動、イベント企画、広報活動を展開して、集客・プロモーション能力を高め、利用者増加と賑わいづくりに努めた。

1 広報活動

(1) 日本丸カレンダーの製作・配布

ア 関東一円の観光協会、近畿、中部、東北の旅行代理店、観光バス会社、旅行センター、市内類似市民利用施設、市内主要ホテル等へ配布。

ミュージアムショップでも販売した。

イ 印刷枚数：B1版1,500枚、B3版1,500枚

(2) イベントニュースの発行・配布

毎月日本丸・マリタイムミュージアムのイベント情報を発行し、マスコミ及び観光案内所、区役所等へ配布した。

(3) パンフレットの常置

桜木町駅前総合観光案内所、みなとみらい 21 総合観光案内所、神奈川県観光協会(札幌・東京・大阪)にパンフレットを常置。

(4) 広報媒体等の活用

広報よこはま、旅行雑誌、タウン誌、新聞等へイベント情報の提供や広報及びホームページへの掲載依頼を積極的実施した。

(5) 横浜高速鉄道との連携

みなとみらい線各駅コンコース内でのポスター掲示、チラシ等無料設置場所を確保した。

2 生徒の無料観覧

こども及び学校利用を促進するため生徒の日本丸・マリタイムミュージアムの入場無料を継続した。

ア 土曜日の高校生以下無料観覧

イ 授業の一環として入場する市内の高校生以下の無料観覧

小中学校計 77 校、6,620 人

3 お得な割引券の発行

入場者増加策として、お得な割引入場券を 8・9 月に発行した。

(1) ファミリー丸得券 土日祝日に家族入場者は、こどもは無料、大人は 600 円を 500 円(団体料金)とした。

(2) 平日丸得券 平日の大人 2 人以上の入場者は 600 円を 500 円にした。

4 周辺施設共通チケット「ウミキュー」販売

日本郵船歴史博物館、横浜開港資料館と水上バスが利用できる格安共通チケット「ウミキュー」(「みなと横浜ミュージアム・クルーズ」の愛称)を販売し、集客に結び付けた。販売数 870 枚。

5 新聞販売店との提携

朝日新聞、読売新聞の販売店との提携により招待券を購読者に配布し、来場者の増加を図った。入場者数 3,818 人

6 JTB 旅行企画等への働きかけ(新規事業)

JTB が主催する旅行商品やグループ会社主催の教育旅行等の企画への組み込みを行った。

(1) JTB の修学旅行向け教育プラン「Let's JTB」のメニューに海洋教室を登録。

(2) JTB の個人旅行向けプラン「エース JTB 東京探訪：横浜コース」が採用

された。実施時期は平成19年4月～9月。マリタイムミュージアム・日本丸に集合、見学。

7 観光施設や旅行代理店との連携(新規事業)

周辺ホテルや万葉の湯など観光施設と連携してリーフレットの配置など行い、利用促進を図るとともに、クラブツーリズムなどの旅行代理店への営業活動を展開した。

8 コンサート等の開催

- (1) 総帆展帆に合わせた吹奏楽演奏会と吹奏楽フェスティバルを13回開催した。中学校、高校等57団体参加、横浜吹奏楽連盟と共催。
- (2) ジャズコンサートを4月30日、7月30日に開催した。
- (3) 西区防災ふれあいコンサートを11月12日、2月24日に開催した。
- (4) ポンツーンコンサートを7月29日に開催した。

9 シーズン・イベント

- (1) ゴールデンウイーク・イベント
4月29日～5月5日の期間中にピエロの風船とワイヤーアートのパフォーマンス、こどものためのマリンバコンサート、ペーパークラフト教室、日本丸船長服記念撮影会、船の缶バッジ作りなど実施した。
- (2) 夏休み海と船のスタンプラリー(新規事業) 7月15日～8月31日 夏休み集客イベント。全41日間。応募者5,935人。日本丸とミュージアムの5ヶ所にスタンプを設置
- (3) 「ホリデープレゼント・スタンプラリー」(新規事業) 11月の土日8日間。応募者2,385人。
- (4) 新春恒例もちつき大会 1月14日(日)に開催。参加者・見学者約1,000人。入場者、パーク来園者等350人にもち配布。日本丸友の会と共催。
- (5) お正月スタンプラリー(新規事業) 1月1日～14日。応募者1,678人。

10 クリスマスナイト日本丸(新規事業)

- (1) 12月23日(土)・24日(日)実施。日本丸夜間特別公開(21:00まで)。
- (2) 日本丸にクリスマスの特別照明・イルミネーション、パークにキャンドルライト、日本丸後部デッキにクリスマスツリーとタイムベル設置。
- (3) 2日間の入場者は1,107人。

11 日本丸77回目進水記念日イベント(新規事業)

- (1) 1月27日(土)実施。77歳を祝して入場無料とした。入場者数は3,040人。
- (2) 日本丸入場者先着300人に日本丸焼印入りの祝い餅をプレゼント。
- (3) 各77番目の入場者に日本丸チョコQプレゼント。

(4) 船内で「日本丸乗組員のかたふり」座談会」開催。参加者約 70 人。

1.2 プロモーション

(1) ヨコハマ・シーサイド・フェスティバル 2006 開催(新規事業)

10月8日(日)実施。初めてメモリアルパークで開催。ディンギーや身障者用カヌーなどの体験乗船会、コンサートなどを開催。参加者約 9,000 人、入場者 906 人。

(2) 横浜開港 150 周年連動事業・日比野克彦 ART VOYAGE「FUN E」プロジェクトに協力(新規事業)

ワークショップ:9月9・10、23・24日 会場メモリアルパーク
イ 展示会:期間10月17日~12月28日 ミュージアムロビーで日比野氏が手がけた段ボールのアジアの船(6点)と帆船日本丸を展示した。

(3) 横浜で初めて開催された「ボートショー」に出展(新規事業)

会期:3月15日~18日。会場パシフィコ横浜。横浜市港湾局・横浜開港 150 周年推進協議会と協働で出展し、PR活動を展開した。

1.3 緑地・施設を活用したその他の事業

実施日	行事	内容
4月 ~ 5月	FMヨコハマ公開放送	3回。ラジオ生放送
4月 ~ 3月	ウォークラリー出発点・中継点 終着点	7回。横浜シティウォークをはじめ 約 10,000人がパークを利用
7月14日~7月17日	横浜ボトルシップ愛好会作品展	4日間。約30点をミュージアム ムロビーに展示
7月22日~7月30日	中学生海の絵画コンクール入賞 作品展示	10日間。ミュージアムロビー で展示
8月4日、8月18日	親子ボトルシップ教室	全2回。73人参加

※NPO団体がドック延長線の水面を利用してシーカヤックの教室を開催

平成18年度 収支決算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
[収入の部]			
1 利用料金収入	43,941,000	40,426,029	3,514,971
観覧料収入	35,398,000	30,059,910	5,338,090
閲覧室収入	17,000	14,100	2,900
ミュージアム特別展示室使用料	210,000	56,175	153,825
研修施設使用料	2,144,000	1,465,300	678,700
緑地使用料	490,000	1,611,350	△ 1,121,350
海洋教室等収入	5,082,000	6,019,194	△ 937,194
共益費収入	600,000	1,200,000	△ 600,000
2 受託事業収入	352,000,000	352,000,000	0
指定管理者業務受託事業	352,000,000	352,000,000	0
3 助成・協賛金	4,000,000	4,416,000	△ 416,000
4 自主事業収入	39,573,000	38,347,143	1,225,857
横浜港ポートパーク事業収入	11,040,000	5,338,112	5,701,888
記念品販売収入	14,071,000	14,462,511	△ 391,511
新企画イベント収入	2,000,000	2,004,160	△ 4,160
利用料金関連収入	1,984,000	1,701,860	282,140
自販機手数料	9,000,000	10,964,182	△ 1,964,182
雑 収 入	1,478,000	2,476,318	△ 998,318
補助金収入	0	1,400,000	△ 1,400,000
当期収入合計 (A)	439,514,000	435,189,172	4,324,828
[支出の部]			
1 施設運営事業費	117,690,000	111,341,900	6,348,100
帆船日本丸等施設運営費	117,690,000	111,341,900	6,348,100
2 指定管理者施設管理費	282,251,000	291,183,381	△ 8,932,381
人件費	164,576,000	158,546,596	6,029,404
その他	117,675,000	132,636,785	△ 14,961,785
3 自主事業費	39,573,000	27,668,410	11,904,590
横浜港ポートパーク事業費	9,600,000	3,873,028	5,726,972
記念品制作費	8,269,000	6,157,821	2,111,179
自主事業管理費	21,704,000	17,637,561	4,066,439
4 特定預金支出	0	4,995,481	△ 4,995,481
当期支出合計 (B)	439,514,000	435,189,172	4,324,828
当期収支差額 (A-B)	0	0	0

平成18年度 お客様の声(利用者アンケート)の集計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	構成比
苦情・不満	3	15	11	9	4	1	0	1	6	2	2	6	60	3.4%
お礼・激励	132	133	132	52	82	116	100	92	80	84	26	146	1,175	67.1%
意見・要望	22	26	16	7	21	53	20	19	18	17	8	20	247	14.1%
その他	31	8	16	18	44	40	14	22	12	16	14	34	269	15.4%
計	188	182	175	86	151	210	134	134	116	119	50	206	1,751	100.0%

「お客様の声」への対応について

アンケートは原則毎日回収し、回収されたアンケートは担当係長が全ての内容を把握しています。アンケートに書かれたご意見・ご要望等の内容について、担当者から電話等にて対応しています。

(主な内容)

◎ 日本丸船内についてのご意見

- * もっと公開されていない所も見たいです。
 - * 入れないドアが多くて、ちょっと残念。見れる部屋を増やしてほしいです。
- ⇒公開できる部屋を少しずつ増やしております。

◎ 横浜マリタイムミュージアムについてのご意見

- * 見学順路の表示をわかりやすくしてほしいです。
- ⇒床に矢印を貼って順路を示したり、仕切りロープを活用するなどし、改善しました。